

高齢者の就業にかかる実態を包括的に把握するため、現在実施中のアンケート調査（定量調査）を補完するインタビュー調査（定性調査）を実施する。

※半構造化によるインタビュー（事前に大まかな質問事項を決めておき、回答者の答えによってさらに詳細に尋ねる方法）にて実施。

## 1 【高齢者】就業に関する調査

### （1）調査手法

グループインタビュー法

※4～6人の対象者を一室に集め、司会者の進行のもと、各自の意見を聞き、質的な情報を得る。（対象者の動機や実態、意思決定の過程にまで踏み込んだ話を聞く予定）

### （2）実施概要

実施日時	令和元年8月31日（土）～9月8日（日）のうちの2日間 1日2グループ（1グループ2時間）
実施場所	（株）プリミティブ・ドライブ内インタビュールーム （福岡市中央区大名2-8-18 天神パークビル7階）
対象	60～74歳の男女 24人（4グループに分けて実施）

### （3）対象者選定及びグループ分け

アンケート調査の設問を参考に、対象者を選定し、グループ分けを行う。

就業状況	・60歳までの就業状況、現在の就業状況 （問3、問7、問11）
就業に対する希望	・就業形態、就業時間、給料（問20～問22）
就業に関する考え方	・今後働きたいと思う理由（問16） ・仕事を選ぶ時に重視すること（問17） ・どんな職場なら働きたいか（問28）



考えられる類型（仮） ※アンケート分析後に性別、年齢を考慮し決定する	グループA…就業希望はあるが働いていない人 グループB…生活のための収入が欲しい人 グループC…小遣い程度の収入が欲しい、健康のために働きたい人 グループD…生きがいを得たい、社会貢献・社会とのつながりをもちたい人
---------------------------------------	--

### （4）インタビュー内容（例）

- ・就業者に対して：これまでの仕事とその内容、求職経路、仕事を探す上で「これだけは譲れないこと」とその理由、求職活動で困ったこと
- ・求職者に対して：働いていない理由（就業を阻む要因） など

※個別に、本人に関する情報（年齢、経験、家族構成など）、求職（就業）理由、求職（勤務）条件とその理由を把握した上で実施

## 2 【事業者】高齢者雇用に関する調査

### （1）調査手法

デプスインタビュー（≒ヒアリング調査）

※1対1で時間をかけて聞き取りを行う。

### （2）実施概要

実施日時	9月中旬～下旬 ※高齢者グループインタビュー実施後
実施場所	対象事業所を訪問して実施
対象	福岡市内の事業所 4事業所

### （3）対象者選定

アンケート調査の設問を参考に、対象者を選定

事業所の状況	・人員状況が不足しているか否か（問4）
60歳以上の雇用の状況	・60歳以上の雇用の有無、60歳以上から新規採用の有無（問8）
今後の60歳以上の雇用について	・今後の60歳以上の活用の有無（問14） ・高齢者を雇う時に重視すること（問16） ・高齢者活用の際の、望ましい雇用形態（問17）



考えられる類型（仮） ※アンケート分析後に決定する	A…高齢者を積極的に活用している事業所（正社員） B…高齢者を積極的に活用している事業所（パート） C…高齢者を積極的に活用したいが少ししか活用できていない事業所 D…高齢者を活用したいが活用できていない事業所
------------------------------	--

### （4）インタビュー内容（例）

- ・高齢者雇用の現状
  - ・高齢者雇用のメリット・デメリット、今後の可能性など
- ※インタビューの項目には、高齢者のグループインタビューの結果を反映させる。